

山本 奈央 議員

議長からの挨拶では、議員のなり手不足の話題がでた。令和4年でいうと全国に926町村あり、このうち全国254町村、北海道だけでみると63町村は町村議会議員選挙は無投票だった。また定員割れの町村は全国31町村、北海道だけでみると14町村あった。この数字を見ても都道府県の危機は国の危機である。今後は議員報酬を見直すなど対策の必要があり、住民と問題意識を共有して、安心して職務が出来る環境整備が必要である。議員は信頼される議会にするために日々研鑽していかなければならない。北海道は現在144町村と21市で構成されている。と挨拶下さった。

気象予報士の森 朗氏

『札幌が東京より暑くなる！？加速する気候変動』

HBC 昼おび出演しており、趣味のひとつはカーリング。北海道は気候的にもおもしろい立地。「去年の夏を覚えていますか？」と話し始めた。札幌は36,3℃の猛暑日が3日、東京は37,7℃の猛暑日が22日、気温的に見るとどちらも暑さにあまり違いがないとグラフで解説した。熱帯夜は気象用語ではない。札幌の気温変化は100年でようやくわかる程度なので、100才以上の方だと体感あるかもしれないと笑いをとった。夏日真夏日は都市によって変動する。猛暑日は増えている。札幌の猛暑日や札幌の熱帯夜の日数を見ていくとこのままだと道内年平均気温は2050年に東京と同じ平均気温、2060年に沖縄と同じ平均気温になる。『まさか』は起きる。2000年以降アメダスの観測で40度が69回中61回。フェーン現象が原因で日本海側で頻発している。30年間の平均を平年温度とよぶ。熱中症による死亡は2010年1731人でそのうち高齢者は80%だった。高温障害による水稻の被害(北海道)は2010年2023年に起こり、玉ねぎに関しては2021年に高温で雨が降らなかったのが被害があった。魚の不漁については海のなかで起きていることは宇宙よりわからないと言われているそうだ。日本近海海面水温の変化は、釧路沖で100年平均1.66℃あがり、黒潮の大蛇行が過去最長である。近年北海道の5月6月は晴れず日照時間は減っているようにみえる。大雨の増加もニュースになっているが北海道は比較的少なく、理由は南の湿った空気が流れ込みづらいからであるが、今後も続くかはわからない。全国的に1時間に80ミリの雨の発生回数が増えているが1時間に50ミリの雨の予想で道路は造られているので災害の可能性はある。集落の上だけ局地的に雨が降る例も報告されており、住宅の上に雨雲がスポットでかかっている写真を出した。私自身が知っている情報も含めて考えると、アメダスの観測所が増えていることと、皆がスマホなどをもち写真を気軽に撮れるようになったから表面的に表れるようになったことも観測結果に表れているのではとも感じた。気温が上昇すると海水温は上昇し水蒸気になる。本来雨はしとしと降ると資源になる。雪による死者行方不明者も増加している。地球温暖化の影響で海水温上昇→大気の水蒸気増加→どか雪が降る のではないかと予想。北海道の道東では気温の低い時に雪は積もっていても木の枝に雪がついておらず理由は気温が低いと雪の表面が全く溶けないので雪は結晶がどこにもくっつかないからである。一方、長野(本州)の雪は木の枝に雪がついており、雪はお互いに結晶がくっつきやすい性質があり環境や温度による地域差がある。

そう考えると今後北海道が暑くなったとしたら雪の質が変わるかもしれない。

気候変動は今に始まったことではなく、問題なのは気候変動のスピード。南極の氷が溶けているのは 100 年平均で 0.08°C 上昇したからかもしれない、縄文のヒブシサーマル期最終氷河期以降の気温変化は激しいときで 100 年平均 0.025°C だった、擦文文化、オホーツク文化、トビニタイ文化など経てきているが、世界の平均は 0.7°C 上昇で日本だけ 1.3°C も上昇している。

もっとペースがあがってくる可能性があるがどうしたらいいのか？日本の温室効果ガスで考えてみると一番吸収するのは森林である。若い木は二酸化炭素をたくさん吸うが木の年数が経つと二酸化炭素吸収は少なくなる。大気中の二酸化炭素濃度を問題提起した 2015 年パリ協定では、2035 年までに石炭火力発電を廃止。先進7カ国気候エネルギー環境相会合で話された内容としては、日本のエネルギーの3分の2は化石燃料に頼っている、カナダは水力発電が多い、インドと中国は 60~70%化石燃料に頼っている、火力発電は安定的に発電量を調整しやすいことがメリット、エネルギーとして水素やアンモニアも注目されているが作る時にエネルギーを使うのでどちらがいいのか考えていく必要がある、原子力には万が一のリスクがあるし、水力発電においては大規模ダムは限界まで日本中に作り活用されているのでこれ以上増やすのは難しい、注目されているのは小水力発電だか大規模停電の対策になるかは疑問がある、太陽光発電は効率が低く能力の20%の発電量、バイオマス発電や、地熱発電もあるが地熱発電は掘ってみないとわからないのでコストがかかるなどだ。そこで、北海道は天然木が多いので森林管理と木材利用でカーボンニュートラルを目指してはどうか。昔はパルプを作っていたが現在ペーパーレスになったので需要が減った。ブルーカーボンはマングローブや海藻や昆布が二酸化炭素吸収率多いので注目されている。森さんが一番聞かれると困ることとは「何をしたらいいのですか？日本人はやることはもうやっている。後は何出来るのか？」という質問。また高校生から「色々な企業から聞く話本当ですか？カーボンニュートラルを理由に物を売りたいからではないですか？」と質問された時の返答は「だまされないでね」としか言えなかった。勉強して立派な消費者になってくださいと付け加えたそう。何故ならば消費者の意見が会社や役所を一番動かせるからだ。その一例としてブラジルのコーヒー農園の話がでた。安全で環境に配慮したコーヒーしか買わない人がいるから、それを作る人がでてくる。環境に配慮したコーヒー豆づくりの秘密は土。微生物。その微生物採取し培養したものを、化学肥料農薬の代わりに使った例がある。実は森さんのおじいさんが農法コンテスト入賞したものだった。過去のやり方から学んだり、最新の情報でブラッシュアップすることは大切である。これからの環境についてどうすればいい？かは適応していくことだ。災害から身を守るためにしていることの一例をあげた。沖縄の古民家での対策の鍵は二つ！船を守るためにはマングローブの川の中に船を隠す。築 200 年の家であれば嵐の時に雨戸を開けて風を通す。崖崩れや地滑り や土石流など外水氾濫の理由がもぐらだったこともある。内水氾濫(都会)では熱帯に住む蚊が熱帯からやってきて増え伝染病の可能性もある。防疫も必要。経験に基づいた対策→最新のハザードマップと状況を想定したシミュレーションの必要がある。降水確率は降水量を予報するものではない。防災気象情報と警戒レベルなど気象庁はもっとシンプルにすべきだと森さんは考えている。行政への期待は、住民の安全確保、インフラ整備、電気ガス水道、短期長期の補償とのことだった。

最後に森さんの天気予報を聞いた。

気象庁データから読み解くと、7月は気温が高く、雨多い、蒸し暑いので熱中症に注意が必要である。8月は平年より温度高く、去年より暑い、一時的に雨不足の可能性ある。9月は気温高め、雨は平年並み、穏やかな可能性もある。台風は高気圧弱まり台風くるかもしれないとのことだった。

山本の感想は、南極の氷が溶けるニュースは報道されるのに、北極で観測史上一番寒い気温が観測されたことは報道されない。それをこの場で伝えないところに矛盾も感じた。過去に NHK ではツバルが温暖化で沈むと報道されたが、本当は温暖化ではなく地盤沈下で沈んでいることがわかったのに訂正報道が大きくされないことなど、環境問題とされていることが本当に信じられるのか国民も考えてほしい。日本での魚の不漁については、他国は漁獲量があがっているが下がっているのは日本。しかも、温暖化が原因だとか隣の国が日本にきて不正に漁をするからだとか何かのせいにして改善していない。他国は漁獲量の制限や小さい魚はとらない、漁師の給料補償をするなど、しっかり漁に関わる管理をしている、森さんが高校生に答えた言葉「だまされないでね」が大切だと感じた。

別記様式（第6条関係）

令和6年7月3日

清水町議会議員 山下 清美 様

清水町議会議員 田村 幸紀

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名（主催者） 北海道町村議会議長会議員研修会（北海道町村議会議長会）
- 2 研修日時 令和6年7月2日（火）
- 3 研修先 札幌コンベンションセンター（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）
- 4 研修目的 議員の資質向上と議会の活性化に資するため。
- 5 成果（具体的に）

講演1 「札幌が東京より暑くなる!?～加速する気候変動～」

気象予報士 森 朗氏

気候変動について小さな自治体単位でできることは多くはない。しかし勉強し立派な消費者になることが重要。過去の事例を学びブラッシュアップし適応すること。企業や議員は自治体や国に積極的に関わり議論することが、行政に求められている安全確保・インフラ整備・長短補償が具現化する道である。

地球規模の論点だから地方にできることは少ないと嘆くのは学べないのではなく学ばない言い訳である。日々学び成長することが肝要であると再確認した。

講演2

「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所感」

元衆議院議長 大島 理森 氏

議論を経て合意形成を図り、それでも決着がつかなければ採決。これが日本政治の姿であり信託された議員の役割。

国は外交や制度仕組みをつくるどころであり、地方議員は住民に寄り添った合意形成の原点ともいえる場所であることを再認識した。

令和6年7月9日

清水町議会議長 山下清美 様

清水町議会議員 中河つる子

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名 令和6年度 北海道町村議会議員研修会
- 2 研修日時 令和6年7月2日
- 3 研修先 札幌コンベンションセンター
- 4 研修目的 議員の資質の向上と議会活動の活性化を図り、町政の健全な発展と
住民福祉の増進に寄与すること。

5 成果

- 1, 札幌が東京より暑くなる?～加速する気候変動～

気象予報士 森 朗氏

最近の統計より、熱帯夜が増え、冬日（日最低気温が0度未満の日）、真冬日（日最高気温が0度未満の日）が減っている。猛暑日（35度以上）、熱帯夜（最低25度以上）が増えている。大雨の増加、雪が短い時間にたくさん降る。海面水温があがり、黒潮が蛇行している。気候変動の背景には進行する地球温暖化と海洋温暖化が考えられる。その影響でジャガイモの高温障害、海ではサケ、サンマ、いかが減りマグロ、ブリが増えている。その対策は、気温の上昇を抑制するために、排ガス規制、CO₂の削減として2035年までに石炭火力発電の廃止が言われている。これからは大きな水力発電でなく、小さな水力発電、バイオ発電、風力発電、太陽光発電に切り替える。CO₂を吸収するコンブ、マングローブ林の拡大など過去にも学びながら、気温上昇を抑える手立てをしていかねばならない。

2, 人口減少と市町村の重要性・民主主義について、自省を含めての所感

元衆議院議長 大島 理森 氏

失われた 30 年 1990～2020 年

1, ソ連の崩壊、2, バブル崩壊 3, 人口問題—少子高齢化

資本主義、民主主義のグローバル化市場経済—中国、インドの台頭—新しい覇権国家をつくる。戦後、日本は戦争をしなかった。これは誇りをもってよい。2, 2 大政党制は日本人、日本の文化に合わない。日本の文化はいろいろあり、多様な価値観を持つ。分断なき政治をつくり、世界に進める。これからやれる。やってもらいたい。その根底は議員は国民から信託を受ける。緊張感がなくなった時、おごりがうまれる。民主主義の基本は町村から始まる。地域に密着は町村議員。物事の判断はトリの目だが、現場から全体を見る目を持つ。人口減少問題—ノルウエー、スウェーデンの先進例から少子化対策を学ぶ。ピクセルという学者は一国にとって最適な人口—1 人当たりの福祉を最大にする。とよいと。都市と農村を比較すると、農村は人間関係の暖かさがある。それは宝だ。満足感だ。地域の特性を生かす。助ける。情報を集め行政に生かす。広域的な町作り、町が自立の心を持ちながら、多面的にやってみる。住民にできる、出来ない事も言いながら政治をするのは議員だ。

別記様式（第6条関係）

令和6年7月5日

清水町議会議長 様

清水町議会議員 鈴木 孝 寿

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名（主催者） 北海道町村議会議長会議員研修会
- 2 研修日時 令和6年7月2日
- 3 研修先 札幌市コンベンションセンター
- 4 研修目的 定例の議員研修会
- 5 成果（具体的に）

気象予報士 森 朗氏の講話

札幌が東京より暑くなる！？加速する気候変動

北海道と東京を比較して、最高気温は東京 37.7 度に対し札幌 36.3 度と地理的な大きな条件を元にしても、変わらない状況がある。しかしながら、猛暑日や真夏日、熱帯夜を比較するとその状況はまだ歴然としている。

しかしながら、平均気温や最高・最低気温の変化は如実で、地元清水町を過去から比較しても、明らかに気候は変動している。

これらに伴い、気温を下げる取組というのも勿論大切だが、当然のように町村議員の仕事としては限界を感じる。ではどうすべきか。農業を基幹産業とする本町においては、品種改良や作物の選定は公としてスピード感をもって推進していくように仕向けるのは、議員として最低限の仕事とを感じる。

下衆議院議長 大島理森氏の講話

人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所管

国政を携われた元衆議院議員・議長のお話は、大局からみた政治のお話は非常に感慨深いものであった。しかしながら、昨今議員研修において、このよう

な町村議員の研修としては比較対象にならない中で、果たして研修に相応しいのかが疑問に残る。個人研修としては興味が大きいにあるものの、北海道町村議会議長会には今後の研修の人選については再検討してほしいと強く願う。

令和 6 年度北海道町村議会議長会議員研修会報告書

日時：令和 6 年 7 月 2 日

場所：札幌コンベンションセンター

概要

開会あいさつ

道議長会 渡辺孝樹 会長

議員のなり手不足により 63 市町村で無投票であった
二代表制民主主義の根幹を揺るがす問題である
議員報酬が低額であることを含め環境整備が必要

研修 1

「札幌が東京より暑くなる!?～加速する気候変動～」

気象予報士 森 朗氏

昨年の最高気温は東京 37.7℃、札幌 36.3℃であった

最も高かった最低気温は東京 27.7℃、札幌 26.7℃

猛暑日 東京 22 日 札幌 3 日

真夏日 東京 90 日 札幌 30 日

熱帯夜 東京 57 日 札幌 7 日

スポット的には札幌が東京に匹敵する気温の高い日もあるが、日数は少ない。

熱中症死者数 2010 年には 1731 人にも

雪害による死者・行方不明者 2000 年頃から増加

気候変動の「スピード」

温暖化の抑制

吸収力の停滞

G7 2035 年までに石炭火力発電廃止

中国、インド 石炭火力がメイン

日本 二酸化炭素排出多い

原子力発電 二酸化炭素出ないがリスクが大

水力発電 建設限界 雨量による影響大 小水力発電に可能性

風力発電 設置場所

太陽光発電 効率低い

バイオマス発電 吸収源となる森林育成 カーボンニュートラル

地熱発電 掘ってみないとわからない

温暖化への適応

移動 農林漁業 産地
沖縄古民家の風対策
蚊の生息域北上 感染症
災害 行政への期待
住民の安全確保
インフラ整備
短期・長期の補償

研修 2

「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所管」

元衆議院議長 大島理森氏

今の政局

アメリカ大統領選 分断
フランス下院選挙 極右躍進
イギリス下院選挙 与党大敗
ドイツ 極右台頭
国民の不満が混沌を生んでいる
日本はそこまでは行っていない
失われた 30 年

- (1) ソ連がなくなった
- (2) バブルの崩壊
- (3) 人口減少の政治課題化

秩序が崩れ紛争頻発 イラクのクウェート侵攻など

2つのグローバリズム

- (1) 市場経済の普遍化
- (2) 中国、インドの経済力向上

世界の分断

海部内閣の二大政党制 政権交代可能

日本にはなじまない（合わない）

多様な考え方を尊重する文化

連立政権 合意形成プロセス 日本的民主主義

自民党のおごり 謙虚さ必要

国民の信託による立場だということを忘れず

人口問題 現場の議員切実

「消滅する自治体」（中央公論）

縄文時代 16 万人 明治 4000 万人 戦時 8300 万人
子育て支援 金より現物（北欧）
都市に少なくて町村にある資産 人・コミュニケーション
人間関係の財産
ソーシャルキャピタル（社会資本）
生きていることの満足感
人間の満足感の得られる場所
新しい豊かさが今必要

閉会挨拶

道議長会 永井 明 副会長

感想・まとめ

研修 1

「札幌が東京より暑くなる!?～加速する気候変動～」

気象予報士 森 朗氏

「札幌が東京より暑くなる!？」というタイトルは、受講者をドキッとさせるものではあるが、期間を通してみれば東京の気温は北海道とは比較にならないほど高い。しかし、平均気温・海水温のわずかな上昇が農業における適地適作の大変更、漁業における漁獲魚種の大変化をもたらす実態は、すでに各地で問題を起こしている。

また、気温上昇はそれだけでなく、豪雨や豪雪などの極端気象現象による災害を引き起こしている。

森氏の講演は、現状、対応（抑制）、適応について詳細にお話されていたが、当然ながら解決策は簡単なものではないことを確認した。

国レベルですべきこと、町村レベルですべきことがあり、清水町として実行できる実効性のある取組が必要である。

本町は J クレジット事業において、渋沢栄一ゆかりの地という縁で東京都北区と提携し、児童らの相互交流と植樹を実施している。800 本程度の苗木を植えることで異常気象が少なくなることを実感するということにはならないだろうが、両市民に温暖化ガス吸収源としての森林の重要性を認識する機会となることを期待したい。

研修 2

「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所管」

元衆議院議長 大島理森氏

失われた 30 年と呼ばれる停滞した日本を振り返り、しかし、秩序は保たれ内紛などが起きていないことは、確かに世界的視点で見れば価値あることかもしれない。

だが、この低位安定の中で自民党におごりが生じ、国民の不信を招いているという指摘は当たっているだろう。

人口減少、少子化について、生きていることの満足感、新しい豊かさを認識することが必要とのくぐり、昔に帰ることで人間の原点を見直すことを指すのか、保守的な価値観を転換することを意味するのか、よく分からなかった。

令和6年度

<櫻井崇裕>

北海道町村議会議員研修会

R6.7.2 札幌ペンションシア

13:10~14:40 「札幌が東京より暑くなる!? 〜加害する気候変動へ」

気象予報士 森 朗氏

昨年夏と東京と札幌の最高・最低気温を比較すると

東京	37.7℃(最高)	27.7℃(最低)
札幌	36.3℃(〃)	26.7℃(〃)

> 差が約1℃

猛暑日(35℃以上) 増えている。

冬・夏・冬日は減っている。

最低気温(1日中)が30℃以上 フェーン現象(札幌側)に多く増えている

熱中症の死者数 今年1,500人超

農業 — 高温障害、被害量、日照不足等の影響が出ている — 品種・作付・作型

酪農 — 牛の生産量

漁業 — 海面水温 上がり続けている — 2ヶ月に1回は、ほたて、いか等不漁

北海道近海、三陸沖 — 黒潮が南下している

※ 5~6月の日照不足の影響は、いまだに?

大雨の増加 — 下水管の限界は14/50mmとされている

これは減る被害が増えている。12月の整備

冬場の雪による落雪等の死者、行方不明、事故が増えている

※ 雪の質も変わっている

気候変動のスピードが早い

過去 100年 0.025℃上昇とされていたが 世界で0.7℃

日本は2010年 1.3℃以上 上がっている

今後 とはいかに抑制 (温室効果ガス削減等) 対応 (省エネ等) していく必要がある

森林吸収量

13:00~14:30 「人口減少と北海道の重要性、民主主義について、自省と今後の展望」

元衆議院議長 大島 理森氏

・ 今から日本の政治はどうなるか? 国際環境の影響を受ける日本 (金村 氏)

・ 米大統領選、2025年議会選挙 (極右)

・ 経済、民主主義 — G7、G8 カオス状況、政治の分析

日本の政治 — 基礎自治の安定性

・ 2025年3年内 (矢張り2025年?)

① ベルリンの壁崩壊 → グローバル化 (資本主義、民主主義)

② バブルの崩壊 (不景気等) — おおむね、高度成長

③ 人口問題 1.57ショック (出生率) 人口減少

選挙戦争 — 27年の火事、リクルー、ロッキード

政治改革、憲法問題 — 政治の新しい方向性

混とんとした時代、共産主義にNO!!

経済 (市場主義) → はた国家 中国、インド、ロシア (金融資本主義)

人と命、難民問題 — プロシカ化に

先世国のみなす自国主義 —> 分析

少子化 格差にどう対応するか、グローバル化外にどう対応

政治改革 — 中選挙区制 ~ 小選挙区制

2代政選制 — 日本人の文化には合わない!!

(米イギリス)

多様な価値観、平等的価値観

< 補注 > — 連立政権 ~ 比例代表制

内閣をどういかに議論し合意し採決をする。

意見の違いを整理、整えよう — 世界にほめる政治

国民から信任されている、望まれている、責任をもち、引きよめを担う

地域に密着し、情熱を持っている

現場の問題から全体を考へる政治

社会保障、社会福祉の問題 — 負担をどう減らすか。

人口減少を止めようとする

生きろ、働けろ — 国民的・総合的なビジョン

* 都市に少なくても地方には人内閣の資本がある。

交流の場、同僚性、子ども

人内閣府 ユー・エス・エス・エス

おどろきに生きた満足感、人々の満足感 リスペクトされる新しい働き

* 議員の役割!!

令和6年7月2日

令和6年度北海道河川議会議員研究会参加記録

札幌が東京より暑くなる!?!~加速する気候変動~

気象予報士

森

朗 氏

今年の夏も暑い。東京37.7°札幌36.3° 猛暑日東京22日、札幌3日、
熱帯夜東京57日、札幌7日。猛暑日と夜 $\left\{ \begin{array}{l} 35.5^{\circ} \sim 35.8^{\circ} \\ 35.1^{\circ} \sim 36.2^{\circ} \end{array} \right\}$
冬日、真冬日 暖か風。

2060年時は沖縄と並ぶ40°以上、山形県、新島で現象
熱中症死者数65%以上→80%以上危険、稲の被害、おかし
じやかいも高温障害、生乳、魚資源さけ、いしん、さんま、
ほりけ、まぐろ、いか、かに、うに、いかに影響する。

いわし、がりは増える。

気温上昇、海水温が上がってくる。

冬は雪害 温度が高く湿った雪で、雪が重い。

気候変動のスピードが速い。気温上昇→抑制する1.5°目標
温室ガスの抑制、川協定石炭、火力発電廃止

中国、インドの火力発電、原子力発電、小水力発電廃止等、風力発電
太陽光発電、バイオマス発電、カーボンニュートラル、地熱発電(熱量疑
問?) 森林資源の活用。

ブルーカーボン森林→腐敗吸収→海藻→国産。

カンパネラ ← 昆布。

今年は雨も多く災害が見られる。地すべり、土石流、外水氾濫

衣食住、防災気象情報、降水確率高い。住民安全確保。
インフラ整備。短期、長期の補償。

7月予報 気温高、雨が多い。とし暑、熱中症。

8月予報 雨が平年並(雨不足?) 去年に続く天候不順、

9月おちやか、台風こない? 予想。

人口減少と市町村の重要性・民主主義について 自省を含めての所感

元衆議院議長

大 島 理 森 氏

鈴木幸男、中川昭一、阿部信孝議員と同期A.

世界と日本の動向は似ている。地方自治体、コアがあった関連
岸田総理の動向、ロシアのウクライナ侵攻、食料、油問題、
フランス選挙では、極右の台頭、EUの弱体化、政治分断(1989-
1990)日本政府の分断はない。自信の官房長官時には、天皇陛下
下の即位(平成天皇)に立ち会う。

ソ連がなくなり、ベルリンの壁が無くなり、バブルがはじけて、生活困窮
高度成長、経済の後退、人口問題、1.5%、平成2年出生率低下
戦後少子化に取って代わった結果。

ソ連、アメリカの冷戦、フエト侵攻、湾岸戦争、日本の貢献も、すめられる。

リクルート、ロッキード、政治の失態、崩壊、ベルリンの壁→グローバリズム
地方経済、中国経済強くなる、共産党、ロシアの北方領土問題は
サハリン問題、プーブル。ロシアは経済力がある。

中国の攻撃的政治、阿部前首相の集団的自衛権 格差有り、
30年社会的分断がなかったのは特筆する。ほりを持て良い。
政治的の改革→政策単位、2大政党の、しみが良いの事だが、日本の
政治体制には合わない。

海蔵首相、宣次、細川と、リッカーン2大政党では、日本の多様な平等
的価値観は白黒をつけるには合わない。

これからの政治は、多様な作業は、大いなる議論を尽くして採決
をやる事。

自民党のおりが現在政治を作っている 総裁戦。その前は民主主義のあり方は形にして、国民の信頼を得る。

都知事戦 政治の方向、野党を経験している、失われた30年の思いおこし、民主主義を、とくみ政治判断する人口減少問題、ヨーロッパ、人口経済影響ある、ルシェンステデ → 人口減止を止める。

1人当りの最大限持っている財力を使って、金利に現物支給が良い。

社会保障、ソーシャルセクター(財産、社会資本)リスペクトする議員各位 自立しながら専門的なものを取り入れ、お互いに切磋琢磨して、議会の在り方を考えなければならない。